

修験道の修行体験

羽黒山 (414 m)、月山 (1,984 m)、湯殿山 (1,500 m) からなる出羽三山は、仏教と神道の要素を取り入れた古来より伝わる山岳信仰である修験道の重要な中心地の一つです。訪れた際は、羽黒町観光協会が主催するワークショップに参加すれば、山伏と呼ばれる修験道の山の行者が行う修行を体験することができます。ワークショップでは三関三渡の巡礼道を数日かけて歩き、修行の生活に没頭します。

この文化体験は、修験道をより深いレベルで理解する良い機会です。ツアーの間、参加者は宿泊施設である「宿坊」に泊まります。行者たちは、何百年もこの簡素な宿泊施設を好んできました。宿坊では「信仰者のための料理」と訳されることもある精進料理を提供しています。木の実、キノコ、根菜、タケノコ、花、米、豆腐や味噌などの植物性の食材を中心に、地元の山菜や野菜を使用しています。

参加者は死者が葬式で着用する服に似た白一色の伝統的な衣装(白装束)を身につけて三関三渡を歩きます。ここの服装は、巡礼者の過去の死を象徴しており、過去の死の後に旅の中で生まれ変わります。三関三渡がこのような象徴的な意味合いを持つようになったのは、江戸時代に巡礼による精神的な再生という概念が広まってからです。

山伏修行のワークショップは、3 タイプの期間で実施されています：(1)1 日、(2)1 泊 2 日、(3)2 泊 3 日。修行は、8 月から 10 月の間に行われます。詳細については、羽黒町観光協会にお問い合わせください。